

国内外に輝かしい業績、思い出話に花咲き

須磨幸蔵先生の米寿を祝う



医療法人社団成和会顧問で一般財団法人成和記念財団常務理事の須磨幸蔵・東京女子医科大学名誉教授の米寿を祝う会が2019年10月19日学士会館で行われ、親交の深い先生たちや日頃お世話になっている方々が集まりました。

心臓ペースメーカーの臨床応用（1963、日本初）と中空糸型人工肺の臨床応用（1979、世界初）の業績など、須磨先生の

プロフィールを発起人の鈴木慶二・西新井病院名誉院長が紹介。

金光宇・成和会及び成和記念財団理事長、竹内靖夫・ハートセンター病院名誉院長、鳥井晋造・北里大学教授（いずれも発起人）が祝辞の述べ、島田達生・大分医学技術専門学校校長をはじめ各地からの祝電が披露されました。

梁守政・株式会社ヤナガワ会長のご発



声で乾杯をあげ和やかな雰囲気の中、邊玉培・成和記念財団前理事長が花束を贈呈し、懇談。

会場のスクリーンに、須磨先生の米寿を記念して制作されたプロフィールビデオが上映され、先生ご愛聴のカラヤンのドイツ名行進曲集のBGMが流れました。

ともに専門分野で長く研究と実践を積

み上げて来られた中島一己、城間賢二、戸川達男先生の楽しい祝辞リレーが続きました。

研究、医療、後進の指導、私生活などの思い出話に花が咲き、須磨先生がお礼のあいさつをされました。